



## 石巻港復興だより第24号 (石巻港湾ひばりの通信47号) —港湾は人の心も結んでいます—

### ごあいさつ

今年度は「復旧・復興の総仕上げに向けた工事促進と進捗管理の実施」、「東北地方の産業・経済を支える港湾機能の強化」、「宮城のさらなる発展につなげる工業用地やクルーズ船受入環境の整備」の三つが当事務所の使命（ミッション）であると考えております。これらの使命を実現するため、平成32年度までに復旧・復興事業を完了できるように、地元住民の方々、関係自治体や関係企業などとの調整を十分に行うとともに、御理解と御協力を得ながら防潮堤などの整備を進めてまいります。また、航路・泊地の浚渫や公共ふ頭の定期的点検・長寿化の推進、保安警備の充実・ソーラスフェンスの整備推進を図ることにより、安全な港湾機能を維持・発展させてまいります。さらに、石巻港内の工業用地について、利便性の高い工業用地として整備し、関係機関と連携しながら積極的にポートセールスを実施してまいります。特に、観光入込数の増加が期待できるクルーズ船の受入体制について関係機関と連携して整備してまいります。

昨年度は石巻港開港50周年の節目の年でした。今まで以上に企業や住民の皆さまに活用していただくためにも、職員が一人丸となって、復旧・復興に取り組んでまいりますので、今後とも御支援・御協力の程よろしく申し上げます。

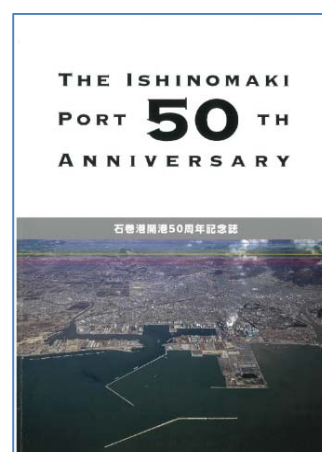


石巻港湾事務所 所長 後藤 孝二

### 石巻港開港50周年記念誌発行

石巻港は昭和42(1967)年の第一船入港以来、昨年開港50周年を迎えました。これを記念し、県北の拠点港として発展してきた歴史や震災で被災した港湾施設などの復旧状況等を記録した「石巻港開港50周年記念誌」を発行しました。今後、石巻港が復旧・復興事業により防潮堤などの整備が完了し、クルーズ船の寄港増加など、国際拠点港として更なる飛躍が期待される中、本書が各種計画の企画立案などに役立つものと自負しております。

閲覧を御希望される方は、総務班にお申し出ください。



## ウェルカムフェスタ2018 客船「ぱしふいっくびいなす」寄港



日本クルーズ客船株式会社が運航する客船「ぱしふいっくびいなす」（総トン数26,594 t，全長183.4m）が5月21日（月）に石巻港（大手埠頭）に寄港しました。当日は好天に恵まれ，歓迎イベントとして大漁旗・石巻市のイメージキャラクター「いしぴょん」をはじめとした地元の人気ゆるキャラ達でお出迎えし，鳴瀬鼓心太鼓による生演奏などでおもてなしをしました。会場には，笹かまぼこの無料提供ブースも設けられ，乗船客の皆様にも宮城の名産品を味わっていただきました。当日の夜，花火が打ち上がる中，「ぱしふいっくびいなす」はたくさんの人々にペンライトなどで見送られ，次の寄港地の大船渡港へ向け出航しました。

### 担当職員からひとこと



港政班 客船担当の角田です。

今年は「ぱしふいっくびいなす」のほかに多くの客船が入る予定です。7月28日（土）に寄港する予定だった本港初の11万トン級大型客船「ダイヤモンド・プリンセス」は台風の影響で寄港中止となってしまいました。9月5日（水），9月18日（火）にも寄港が予定されています。また，8月9日（木）に寄港する予定だった13万トン級客船「MSCスプレンドィタ」も台風の影響で寄港中止となってしまいました。9月29日（土）には「にっぽん丸」の寄港が予定されております。皆さま，お楽しみに！



鳴瀬鼓心太鼓による生演奏



地元の人気ゆるキャラ登場



観光物産PRコーナー



出航直前の「ぱしふいっくびいなす」

## 「みやぎ県民防災の日」総合防災訓練を実施

6月12日（火）、「県民防災の日」に合わせて当事務所においても総合防災訓練を実施しました。この訓練は、宮城県沖地震（連動型）が発生した場合の初動対応を確認し、現状の課題を抽出して、今後の危機管理体制のあり方を検証することを目的としたものです。今年「宮城県沖を震源とするマグニチュード8.0の地震が発生し、県内全域で震度6弱が観測され、津波注意報が発表された」という想定の下、シナリオブラインド型ロールプレイング方式（シナリオを事前にプレーヤーに知らせない訓練方式）による災害対応訓練を行いました。

今後とも訓練を重ね、地震や津波などの発生に対して、迅速かつ適切な対応が図られるよう努めてまいります。



パトロール指示



被害状況取りまとめ



被害状況報告

## 出前講座を実施

6月11日（月）、石巻市立大街道小学校の3年生児童を対象に、石巻市河川港湾室と当事務所が連携して出前講座を行いました。

当事務所では港政班の村上主事が「石巻港の役割」をテーマに、港の役割、港での仕事、運ばれてくる貨物等についてお話をしました。児童の皆さんはとても熱心な様子で、質問も多数いただきました。この授業をきっかけに、港の役割について興味を持っていただけたようです。

未来を担う子ども達が、港の役割について更に関心を持ち、理解を深める良い機会となっただけでしたら幸いです。



## 石巻港 復旧・復興工事(防潮堤等)の状況(その1)

石巻港内の復旧・復興事業は順調に進捗しており、平成30(2018)年3月末において、港湾施設・海岸保全施設については箇所ベースで55%、金額ベースで83%が完成しました。

また、防潮堤についても西浜防潮堤災害復旧工事のほか、4箇所です工事が完了し、総延長ベース(全長約16.6km)で57%(約9.5km)が完了しております。

復旧・復興事業の平成32年度までの完成を目指し、今後とも職員一丸となって全力で取り組んでまいります。

### ■ 施工箇所



### ■ 進捗状況

工種	概要	進捗率(H30年3月末現在)		凡例
港湾施設	箇所数：41箇所 復旧費：約87億円	箇所ベース	54% / 95%	箇所ベース 着手率 約95% 完成率 約54% 金額ベース 着手率 約93% 完成率 約93%
		金額ベース	93% / 93%	
海岸保全施設	箇所数：6箇所 復旧費：約142億円	箇所ベース	67% / 100%	箇所ベース 着手率 約100% 完成率 約67% 金額ベース 着手率 約95% 完成率 約78%
		金額ベース	78% / 95%	
合計	箇所数：47箇所 復旧費：約229億円	箇所ベース	55% / 96%	箇所ベース 着手率 約96% 完成率 約55% 金額ベース 着手率 約94% 完成率 約83%
		金額ベース	83% / 94%	

### ■ 防潮堤(復旧, 復興事業延長ベース)

復旧・復興事業 防潮堤	石巻港区：約16.6km	延長ベース	50%	100%	【石巻港区】 着手率 約99%：約16.4km 完成率 約57%：約9.5km
			57%	99%	

## 石巻港 復旧・復興工事(防潮堤等)の状況 (その2)

### ■ 平成29(2017)年度に完成した箇所



### ■ 平成30(2018)年度施工中箇所

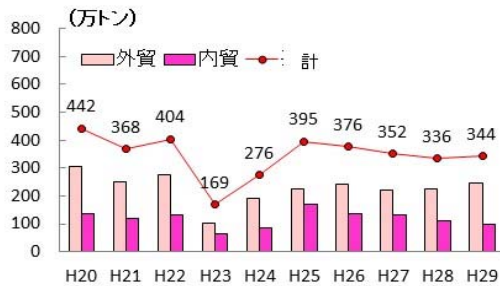
番号	事業	工区	工期	
			自	至
1	復旧(大震災)	東浜防潮堤災害復旧(その3)工事	H27.7	H31.3
2	復興(復興枠・復興交付金)	雲雀野地区防潮堤(その5)工事	H30.2	H32.2
3	復興(復興枠・復興交付金)	雲雀野地区防潮堤(その4)工事	H30.2	H32.2
4	復興(復興枠・復興交付金)	雲雀野地区防潮堤(その3)工事	H28.7	H30.12
5	復興(復興枠・復興交付金)	雲雀野地区防潮堤(その2)工事	H28.3	H31.3
6	復興(復興枠・復興交付金)	雲雀野地区防潮堤(その1)工事	H28.3	H31.3
7	復興(復興枠・復興交付金)	日和岸壁(-4.5m)(その4)外工事	H30.3	H31.2
8	復興(復興枠・復興交付金)	日和地区防潮堤工事	H28.10	H30.12
9	復興(復興枠・復興交付金)	西水路北地区防潮堤(その2)工事	H28.11	H31.3
10	復旧(大震災)	大曲防潮堤災害復旧(その3)外工事	H28.11	H30.9
11	復興(復興枠・復興交付金)	西水路南地区防潮堤(その5)工事 陸閘2基含む	H29.3	H30.10
12	復興(復興枠・復興交付金)	西水路南地区防潮堤(その4)工事	H28.11	H31.3
13	復興(復興枠・復興交付金)	南浜地区防潮堤外工事	H29.3	H30.7
14	復興(復興枠・復興交付金)	石巻港区防潮堤陸閘(その1)工事 12基	H29.2	H30.8
15	復興(復興枠・復興交付金)	石巻港区防潮堤陸閘(その2)工事 8基	H29.3	H30.7
16	復旧(H28災)	東浜1号離岸堤外災害復旧工事	H29.7	H31.3
17	復旧(H28災)	西浜1号離岸堤外災害復旧工事	H29.7	H31.3

## 港湾取扱貨物量の推移(平成29(2017)年速報値)

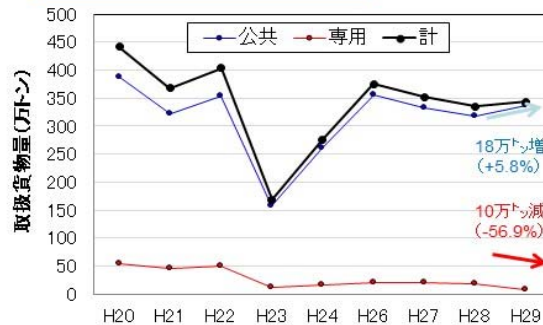
石巻港における平成29(2017)年の取扱貨物量は344万トンで、前年の336万トンと比べ102%とやや増加しました。

### 【石巻港の取扱貨物量】

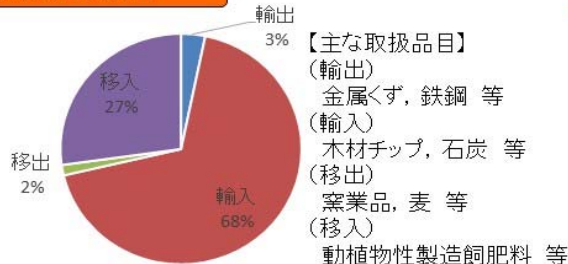
#### ① 取扱貨物量の推移



#### ③ 公共・専用別取扱量の推移



#### ② 輸移出入割合



#### ④ 主な増減品目

- 木材チップ(輸入) 4万トン増↑
- 石炭(輸移入) 11万トン増↑
- どうもろこし(輸移入) 2万トン増↑
- 動植物性製造飼料(輸移入) 8万トン増↑
- 砂利・砂(移入) 8万トン減↓

### 担当職員からひとこと



港政班 港湾統計担当の草刈です。  
 石巻港における取扱貨物量については、震災前の平成22(2010)年には404万トンあったものの震災により激減し、その後は平成25(2013)年の395万トン  
 をピークに減少傾向にありました。これは、復旧・復興工事が完成するにつれて  
 工事で使用する砂利・砂の取引量も逡減したためです。  
 昨年における取扱貨物量の増加は石炭、飼料、木材チップの輸入が増えたことによるもの  
 であり、地元関連企業が堅調に成長していることがうかがえます。

## 港内の保安対策に御協力ください

タイタニック号の沈没事故を契機に定められ、9.11同時多発テロにより改正された国際条約「ソウラス条約」により、本港においても外航船が着岸する岸壁ではフェンスで囲み、ゲートで出入を管理するなどの不審者侵入防止対策を実施していますので御協力ください。

### 担当職員からひとこと



港政班 保安対策担当の阿部です。  
 ゲート内に入場する際、車両についても一旦停止していただき、  
 ①立入許可証や身分証明による「本人確認」  
 ②会社・船名などをお尋ねする「所属確認」  
 ③何のために入るかお聞きする「目的確認」  
 を立哨員が行っております。お忙しいところ恐縮ですがどうぞよろしくお願いいたします。

## 富山県の派遣職員が交代

自治法派遣職員として富山県から応援をいただいていた4名の方々が平成30（2018）年3月31日離任されました。皆さんには、地方港を中心に防潮堤の復旧・復興のために貢献していただきました。また、新年度の4月1日からは引き続き富山県から久木さん、谷嶋さんが着任されました。

新たなメンバーを迎え、職員一丸となって邁進してまいります。



（左から）  
小池さん、橋本さん、浅地さん、渡辺さん



（左から）  
谷嶋さん、久木さん

## 待ち合わせコーナーを設置しました！

当事務所一階玄関脇に「待ち合わせコーナー」  
として4人まで座れる椅子を設置しました。  
待ち合わせや御休憩に御利用ください。



## 編集後記

石巻港初めての10万トン級客船「ダイヤモンド・プリンセス」と13万トン級客船「MSCスプレンドィダ」が台風のため寄港中止になってしまいました。それでもダイヤモンド・プリンセスはあと2回寄港のチャンスがありますので、準備は大変ですがとっても楽しみです！

## 編集事務局

宮城県石巻港湾事務所

住所：〒986-0845 石巻市中島町17-2

電話：0225-95-6271

FAX：0225-95-6273

E-MAIL：iskown@pref.miyagi.lg.jp

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/is-kouwan/>

